

# 明日に向かって2015

## 秋田県特別支援学校職業教育フェア(県南地区)

11月23日(月)勤労感謝の日、横手市のふるさと村で職業教育フェア(県南地区)が行われました。ふるさと村では「<sup>わげもん</sup>若者チャレンジ産業祭」が開催されており、その中でのフェアとなりました。

当日は、県南3校の作業学習製品の販売や体験なども行われ、たくさんのお客様がいらっしゃいました。ドーム劇場では、各校のステージ発表、平成高校吹奏楽部の演奏、横手城南高校よさこい同好会の演舞、特別支援学校技能競技会(錬成会)が行われました。本校からはビルクリーニング部門に2名、喫茶サービス部門に3名の高等部生徒がそれぞれ出場し、ビルクリーニング部門に出場した高等部3年の谷亜佳里さんが銅賞になりました。



### 高等部2年職業ガイダンス

11月6日、高等部2年の職業の学習で秋田障害者職業センター(秋田市川尻)に行き、「働くために大切なこと」について学習したり、作業を体験したりしてきました。

様々なお話を伺いましたが、「職業準備性ピラミッド」の話が生徒の心に残り、事後学習でも「体調管理に気を付けたい」、「生活リズムが大切だと改めて感じた」などの感想が聞かれました。



働く力についての講話

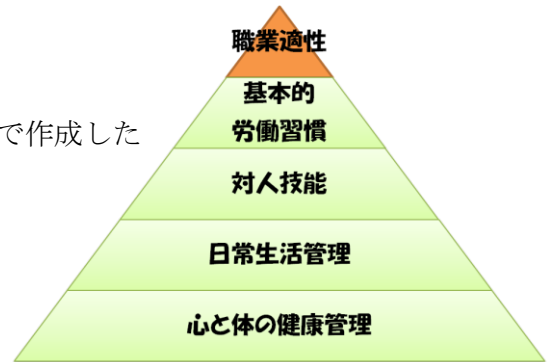


ラッピングの作業体験

# 職業準備性ピラミッド

右の図は「独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構」で作成したものです。仕事をしていくために必要なことの、根底に関わる部分が示されています。

内容について、下から詳しく見ていきましょう。



## ①「心と体の健康管理」

- ・食事や体調、服薬の管理などについての段です。大人が管理する部分も多いと思いますが、支援や指示を受け入れる力が大事なのです。毎日、規則正しい生活をしていくことが、社会の中で生きていくための大本です。

## ②「日常生活管理」

- ・基本的な生活リズムを整えることや、金銭管理がこの段に含まれます。適切な睡眠時間や、昼夜の区別は最も大切です。ゲームやテレビの時間は、どうでしょうか？家庭や学校での買い物体験や、お小遣いの管理もここに含まれます。
- ・家庭や学校における、挨拶・返事・身だしなみ・時間を守ることは、ここに含まれる力です。

## ③「対人技能」

- ・挨拶や謝罪、感情のコントロールについての段です。家庭内や校内での挨拶、素直な態度、意思を伝える力が必要ということです。

## ④「基本的労働習慣」

- ・会社での挨拶や返事・身だしなみ・時間を守るがこの段に含まれます。分からないときに自分から聞いたり、作業が終了したら報告したりすることも必要な力です。

## ⑤「職業適性」

- ・①から④の力のもと、仕事の適性や業務処理能力、作業スピード、持続力などが求められてきます。

「仕事」や「働く」ということについて考えるとき、「どんな仕事があるか」「何ができるか」が話題になりがちですが、ちょっと立ち止まって、その基礎となる部分に目を向けてみてはいかがでしょうか？

今やらなければならないことは何でしょう？

福祉サービスの利用を考えている場合も、一般事業所での就労を目指す場合も「社会に出る」という点では同じです。

しかし、障害の程度や特性によって求められる力は変わると思います。したがって、目指す先を具体的に考え、できていることや不十分なことを明らかにして、できるだけ早い時期から高等部卒業後の備えが必要になります。

三角の一番下「心と体の健康管理」の部分が大きくなればなるほど、三角の斜面は緩やかになります。斜面が緩やかな山は、手助けが少なくても登ることができるかもしれません。

幼い時期に、「心と体の健康管理」を大きくしておくことが重要になります。

